

絵画のみならず、パフォーマンス、環境芸術、立体など幅広い分野で活動している鬚嘔は、1958（昭和33）年に渡米し、ニューヨークを中心に活動した前衛芸術集団、フルクサスに参加しました。その当時、アメリカでは抽象表現主義が隆盛を誇っていましたが、「オリジナルとは何か」という追求を続けていた鬚嘔は、抽象とは逆の具体的な表現を模索し、様々な活動に取り組みました。その後、人間の目で感じることのできる可視光線の虹色を使った制作を始め、「虹の画家」として知られるようになります。

ここでは、鬚嘔が身の周りの物をキャンバスに取り付け、虹色をかけた<inner Rainbow>シリーズを中心に紹介します。虹の迷宮に迷い込むかのような鬚嘔の世界をお楽しみください。

■展示作品リスト

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	大きさ(cm)	技法
1	鬚嘔	1931～	inner Rainbow work I	1989(平成元)	145.5×112.0×16.0	アクリル, コラージュ
2	鬚嘔	1931～	inner Rainbow work II	1989(平成元)	145.5×112.0×24.0	アクリル, コラージュ
3	鬚嘔	1931～	inner Rainbow work III	1989(平成元)	145.5×112.0×57.0	アクリル, コラージュ
4	鬚嘔	1931～	inner Rainbow work IV	1989(平成元)	145.5×112.0×20.0	アクリル, コラージュ
5	鬚嘔	1931～	inner Rainbow work V	1989(平成元)	145.5×112.0×19.0	アクリル, コラージュ
6	鬚嘔	1931～	inner Rainbow work VI	1989(平成元)	145.5×112.0×7.5	アクリル, コラージュ
7	鬚嘔	1931～	inner Rainbow work VII	1989(平成元)	145.5×112.0×23.0	アクリル, コラージュ
8	鬚嘔	1931～	inner Rainbow work VIII	1990(平成2)	145.5×112.0×31.0	アクリル, コラージュ
9	鬚嘔	1931～	inner Rainbow work IX	1990(平成2)	145.5×112.0×46.0	アクリル, コラージュ
10	鬚嘔	1931～	inner Rainbow work 0 (zero)	1989(平成元)	145.5×112.0	アクリル
11	鬚嘔	1931～	オペラグラス	1997(平成9)	44.5×34.1	シルクスクリーン
12	鬚嘔	1931～	メガフォン	1997(平成9)	44.5×34.1	シルクスクリーン
13	鬚嘔	1931～	よろこびB	1997(平成9)	42.8×33.8	シルクスクリーン
14	鬚嘔	1931～	ドンファン	1997(平成9)	38.1×29.2	シルクスクリーン